

米軍はインドシナから手を引け！ 全米の反戦運動に連帯し、市大で抗議の嵐を！

「ワシントン・セント州立大四年学生を虐殺」

四日、セント州立大で、州兵の暴行により平和集会中の学生四人が射殺され、十二人が負傷した。これに対して、スト入りした学園数は、毎日、その数を増しており、無期ストの可能性も各地に出ている。四人の死を出したセント州大は、全学生が五日から学園を立ち去り、スト入りしたコロニア大では、恒例のマンハッタン大との戦術試合も中止して、全学的な平和連合成立の動きが見えている。九日、「コトナム戦争を終わらせるための行動員委員会」が今来に抗議会、デモを行つた。

「民家を焼きつくす米軍」

毎日新聞は米軍のカンボジア侵略を次のように語っている。
……ベトナムで起ったことを繰返している。集土作戦だ。解放戦線が利用するな、これはないという理由で、米兵がダイマツを家に放火している。家畜も、解放戦線の食糧にならうとカバを射殺する。三日、この一帯の空は煙であふれた。住家を次々と焼く。連戦途中に通過した二つの集落を焼き尽した昔の米軍戦術指導官に家々焼いた理由を聞いた。彼は言った「なにもかも焼き尽せ」という指令を受けているんだ……

愛知外相、米帝のカンボジア介入を正当化するアジア会議に参加

マリク・インドネシア外相は四日、カンボジア問題に関するアジア諸国会議で、五月十六、十七日の四日にジャカルタで開くことを発表した。この会議に出席するのは、南ベトナムをけじめにベトナム全戦国である。この類がわらわらするうちに、この会議は米国のカンボジア介入を正当化するためのものと、愛知外相の参加は、侵略加担におびき入っていることをいふことになる。

全市大の学生、親生士諸君！米帝のインドシナ介入と佐藤政府の加担に抗議し、五月十五日市大統一行動で斗争あつた！

カンボジアへの米軍の軍事介入援助の下に北緯からB52戦略爆撃機が連続々と飛び込んでいる。それに比して北緯の基地の強化が、軍事力の強化を伝えるものである。インドシナの戦況拡大が日本の軍国主義への口実となっているのを見れば、インドシナの平和と中立、米軍の即時撤退こそが、日本の平和にとって無期なきはに相乗の要求となっている。五月十五日、愛知外相のアジア会議参加阻止へかけて市大統一行動で全力の学生と堅く連帯して斗争あつた。各クラス、ゼミ、学科では、さまざま、討論をまきおこして、抗議の嵐をもちださなう！

スローガン

- ① 米軍によるカンボジア侵略に抗議する！
- ② 北緯諸国反対！ トロツキズム反対！
- ③ 米軍はインドシナから出ていけ！
- ④ 佐藤内閣は侵略加担をやめろ！
- ⑤ 愛知外相のアジア会議出席阻止！

我議会同民